

1 学年第2回職業人講演会

期日：7月12日

場所：本校体育館

7月12日（水）に第2回職業人講演会を実施しました。講師としてお招きしたのは、本校の卒業生であり、現在、県立広島病院のリハビリテーション科で作業療法士として活躍されている河本敦史先生です。作業療法士としてのご経験をもとに、「好きなことを見つけて仕事にすること」や「仕事を通して社会に貢献すること」についてお話してくださいました。

講演後の感想

○今日の講演で「生きがい」を持つことの大切さが分かりました。これからの人生の中で「生きがい」を見出し、自分なりに人生を全うしていきたいです。また自分のおじいちゃんも今あまり状態がよくないので意味ある行動をしてあげたいと思います。ありがとうございました。

○私が印象に残っている言葉は「必要のない仕事はない」という言葉です。将来私が職について、もし辛いことがあってもこの言葉があれば「誰かから必要とされているから頑張ろう」と思えるなと考えたからです。自分のためにも人のためにも働いてしっかりと社会貢献できる大人になりたいです。またビデオの中の「作業には力がある」や「生を全うする」という言葉も印象的でした。一つ一つの言葉に強い気持ちが込められていて、いいなあと思います。今日は講演ありがとうございました。

○作業療法士という仕事は初めて聞いたけど、今日のこの講演を聞いてよく分かりました。特に最後のビデオを見てやりがいのある仕事だということを知りました。生きているというのはそれだけで幸せなことなのに、私はそれをよく忘れてしまっているのもっと一日を大切にしようと思いました。将来の夢がまだ明確に決まっていないので、今日の河本先生のお話を参考に考えていこうと思います。自分が本当に好きな仕事を見つけるのは大変だし、就くのはもっと大変だと思うけど少しでも実現できるように今からできることをやっていこうと思います。

河本敦史先生お忙しい中、貴重なお話ありがとうございました！！

講演の様子

